

# ノリ養殖情報（第17報）

令和8年2月12日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【海上】調査です。

## 1. 調査結果

調査日：2月10日(火) 天候：くもり 気温：7.7℃(9:00時点)

(今回(2/10)の水温等の測定時間帯 9:15~10:28) 前回と時間帯が異なるので注意してください。

(前回(2/2)の水温等の測定時間帯 3:46~6:16)

調査点		水温 ℃		比重 σ <sub>15</sub>	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月2日		今回	今回		前回 2月2日	今回
1. 神代	支柱	7.7	6.8	23.4	2.6	18.0	4.1	+	なし
2. 仲よし下	ベタ	10.2	6.7	23.3	1.1	21.2	3.0	+	なし
3. 半田	支柱	10.8	5.8	23.1	14.8	19.4	5.5	+	なし
4. 三会	支柱	9.6	6.0	23.7	4.9	87.4	6.8	+	なし

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

## ●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	大型珪藻				小型珪藻	
	ユーカンピア属	リゾソレニア属	グイナルディア属	コンノディスカス属	キートセロス属	スケトネマ属
1. 神代	26	56			178	14
2. 仲よし下		79	10		87	32
3. 半田		73	20		156	12
4. 三会	10	137	4	7	129	135

## ●調査結果概要

- ・水温は、7.7℃～10.8℃。海水比重(σ<sub>15</sub>)は、23.1～23.7。
- ・栄養塩は、1.1～14.8 μg-at/Lで、4調査点中1点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・クロロフィル量が高い状態で、ケイ藻類(主に大型リゾソレニア、小型キートセロス属)が増加しています。  
雲仙市国見町多比良沖～島原市有明町大三東沖にケイ藻類による着色域がありました。
- ・あかぐされ病は4漁場中4漁場(検鏡レベル)で確認されました。  
壺状菌病は確認されませんでした。

## 2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高5,600・3,660細胞/ml (1月30日～)
- 福岡県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高2,890・1,360細胞/ml (2月3日～)
- 熊本県:珪藻類(スケルトネマ属) 最高6,600細胞/ml (2月9日～)

## 3. 他県の情報

- 佐賀県:東中部では、アカが11点中1点(顕微鏡レベル)で確認されました。  
ツボは確認されませんでした。  
色落ちは、東中部の全地点で確認されました。(2月4日)
- 福岡県:現在、冷凍網の2回目の摘採が行われています。  
色落ちは18調査点で確認され、軽度が2点、重度が16点でした。  
アカは10調査点で確認され、軽度が5点、中度が1点、重度が4点でした。  
ツボは確認されませんでした。(2月9日)
- 熊本県:色落ち(重度から軽度)が全域で見られます。  
アカを18地点で確認、ほぼ全域に蔓延しています。ツボは未確認でした。  
珪藻プランクトンは依然として多い状況が続いています。(2月9日)

## 4. 本県の情報

- 現在、摘採作業が行われています。
- 色落ちは全域で見られました(重度:神代・仲よし下、軽度:半田・三会)。
- ノリ網の検鏡結果  
あかぐされ病(検鏡レベル:全域)で確認されました。  
ツボの感染は確認されませんでした。  
付着物は、珪藻(タビュラリア、リクモフォラ、アクナンテス)が見られました。
- 色落ちで生産を見合せた網は、病害の感染対策のため適性管理に努めましょう。